

## 第2回 練馬区地域公共交通会議

### 議事録

#### 1 開会

会 長 : これより第2回練馬区地域公共交通会議を開会する。昨年5月28日に第1回を開催してから約10ヶ月が経過しており、本日はこの間の取組み状況を報告させていただく。また昨年の7月に人事異動があり、事務局である練馬区の交通企画課長が、前任の村上から長尾に交代したので紹介する。

事務局 : 交通企画課長の長尾です。昨年の7月16日付けで交通企画課長を拝任した。昨年3月に公共交通空白地域改善計画を練馬区で策定し、今回は計画に基づいてどのような取組みを行ってきたのか、まず南大泉に広がっている大きな公共交通空白地域を如何に改善しようかとの取組みの状況を、また本年度、区の負担割合が高い関町ルートがあり、そういった問題をどのように着手していくかを事務局の方からご報告させていただきたいと思っている。よろしく願いしたい。

会 長 : それでは、事務局の方から本日の会議の出席状況と資料の確認をさせていただく。

事務局 : 会議の開催にあたり、委員の出席状況をご報告する。欠席の方が4名、練馬区社会福祉協議会事務局長植田委員、練馬区町会連合会会長上野委員、警視庁練馬警察署交通課長根本委員、東京都交通局自動車部計画課長大井委員である。また練馬区観光協会長井口委員は、この会議の前に別件の会議がある関係で、そちらの会議が終了し次第、出席されるとのご連絡をいただいている。よって、現在の出席人数は17名であり、委員の出席が過半数に達していることをご報告する。

《資料の確認》

《人事異動に伴う委員の変更の報告（椎名委員、窪田委員）》

なお、本日の会議は、練馬区地域公共交通会議設置要綱に基づき公開とする。従って、本日の議事内容は、後日発言者の方にご確認いただいた後、練馬区のホームページに掲載させていただく。あらかじめご了承ください。

## 2 議事

### (1)本年度の取組み状況

### (2)各地域における実施状況報告

### (3)今後のスケジュール

会 長 : それでは次第に沿い、議事を進めさせていただく。議事(1)から(3)について続けて事務局より説明する。

事務局 : ≪資料1～3について説明≫

会 長 : ご質問があればいただきたい。まずは南大泉についてお願いします。

委員1 : 図1-3で示されている区間において、運行が困難な理由を説明していただきたい。

事務局 : 該当区間について、路線バスを運行する場合には、交通管理者との協議が必要となるが、道路交通法第17条に基づき検討を図ると、路側帯がある場合には、車道幅員は、車両幅が小さくなるため、検討していたルート of 走行はなかなか難しいということになる。

委員1 : 具体的にはどのようなことになるのか。

事務局 : 車道幅員が狭いことが問題となる。コミュニティバス車両の場合、白線中心間で4.66mが必要となる。一方通行の場合は、車両幅にその余裕分を持たせればよいこととなるため、ルート案を再考する。

委員1 : 出発地と目的地には変更がないのか。

事務局 : 保谷駅から石神井台八丁目交差点間をつなぐことに変更はない。

委員2 : 車両の寸法はどの位か。

事務局 : 小型バスであれば車両幅は2.08mであるので、車道幅員は $2.08\text{m} \times 2 + 0.5 = 4.66\text{m}$ 必要となる。

委員2 : 車両の乗車定員は何名か。

事務局 : 31名である。

委員2 : 車両の小型化は検討されるのか。

事務局 : 経費の関係と、定員が少なくなることもある。ある程度の輸送力を確保したいため、まずは小型バスで走れるルートを探している。

会長 : 次に関町ルートについてご質問をお願いします。

事務局 : 補足であるが、関町ルートの問題点は区の補助割合が高い点であるが、どのようにしたら乗ってもらえるのか、使って貰えるためのルート変更などを検討する予定である。

委員1 : 基本的な質問となるが、元々は福祉園バスの空き時間を活用した運行であったわけであるが、現在は独自の車両で運行しているということで、現在福祉園のバスの空き時間はどのようになっているのか。

事務局 : 福祉園バスということで、現在は別の形で運用しており、現在の関町ルートはみどりバスで運行している。

委員1 : 別の形で運用されているとは、具体的にお教え頂きたい。

事務局 : 基本的には福祉関係の送迎として使っている。福祉園に通っている方が外出される際に有効に使えるような運用をしている。

会長 : 関町ルートの利用者が少ないわけであるが、バス事業者の方々から何かご意見を頂ければと思う。

委員3 : 関町ルートについて、利用者が少ないとのことであるが、東京都全域のコミュニティバスから見るとそれほどひどい数字ではない。また関係材料として、昨年の12月で大泉のリビンオズの送迎バスの運行が終了した。あちらのバスは石神井台7丁目付近からかなりの利用があったため、利用が増える可能性がある。南大泉の方とあわせた検討など色々考えられる。

会長 : 検討について、機会があればお手伝いを宜しくをお願いします。では事務局からそ

の他について報告する。

事務局 : 次回のスケジュールについて、第 3 回の会議は夏ごろを予定している。具体的な議題については、事務局より追って連絡する。

会 長 : 南大泉の検討についてとりまとめて夏頃報告することとする。その他に、質問はあるか。

委員 2 : 来年度のスケジュールにおいて第 3 回で南大泉について合意ということでのろしいか。平成 22 年度の計画の最終的なゴールをどのように設定しているか。H22 年度中に実証運行を行うのか。

事務局 : 基本的には、なるべく早い時期を目指しており、鋭意検討中である。幅員の問題が主であり、住民の方にご協力いただくことが多い為、現在の段階では、具体的な時期は名言できない。平成 22 年度中に実施するという目標であると捉えていただきたい。

委員 4 : 前日も発言したが、ルート検討が進み、具体的にになってきた際には、一緒に現場を確認したい。

事務局 : こちらからも立会いをお願いする。

### 3 その他

### 4 閉会

会 長 : これで第 2 回練馬区地域公共交通会議を閉会する。本日はありがとうございました。